



2007東海大会(144MHz)での 私の判断と行動



2007年9月9日(日)
於 新城市

安島 巧

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の方々の役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？



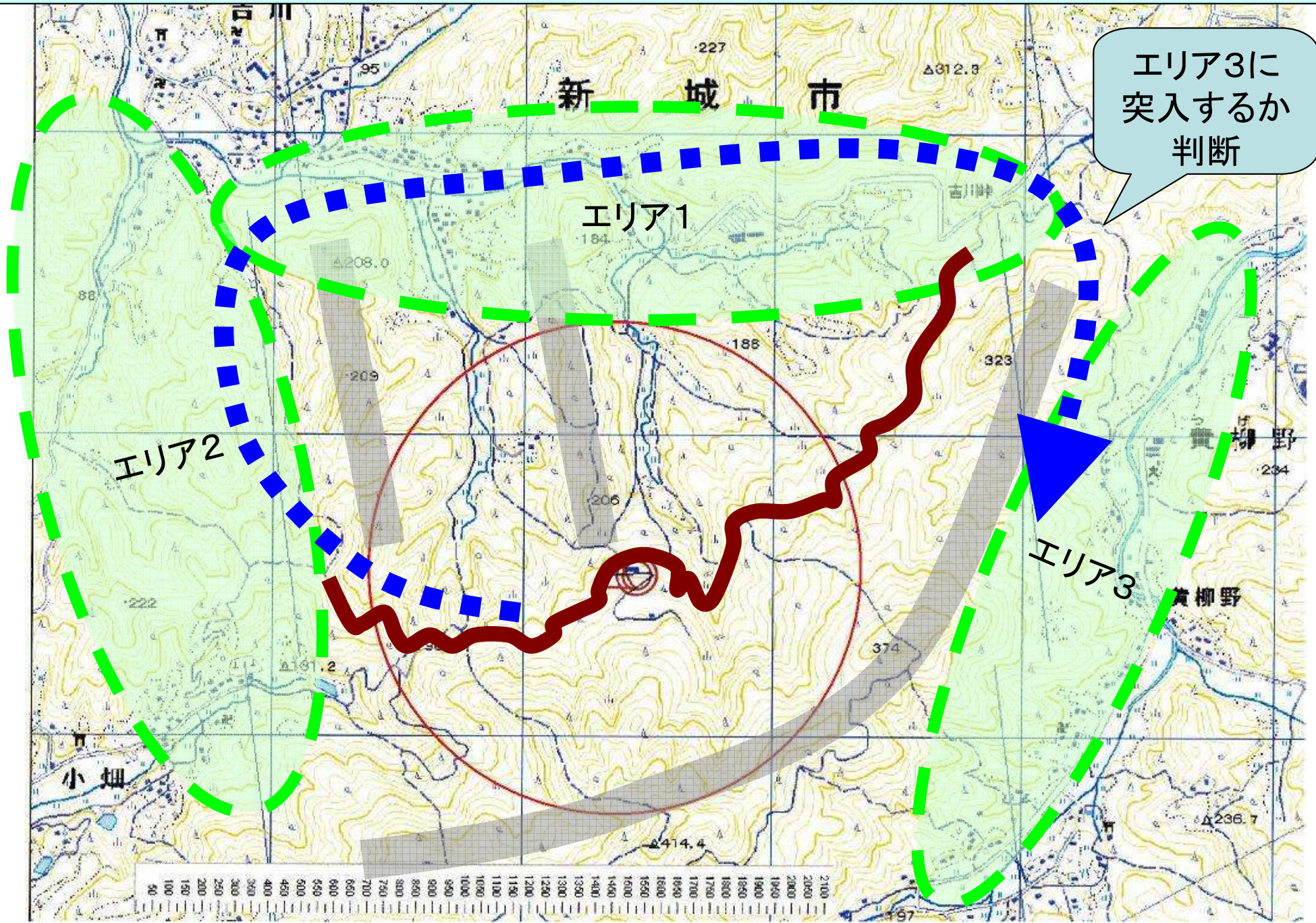
①「スタート地点にて地図読み1」

尾根はツの形。矢印は下る方向。スタート地点は比較的高いところにある。144MHzはむやみに下らないのが鉄則。従って、比較的平坦な(=等高線に沿っている)茶色の道を活用することを考える。



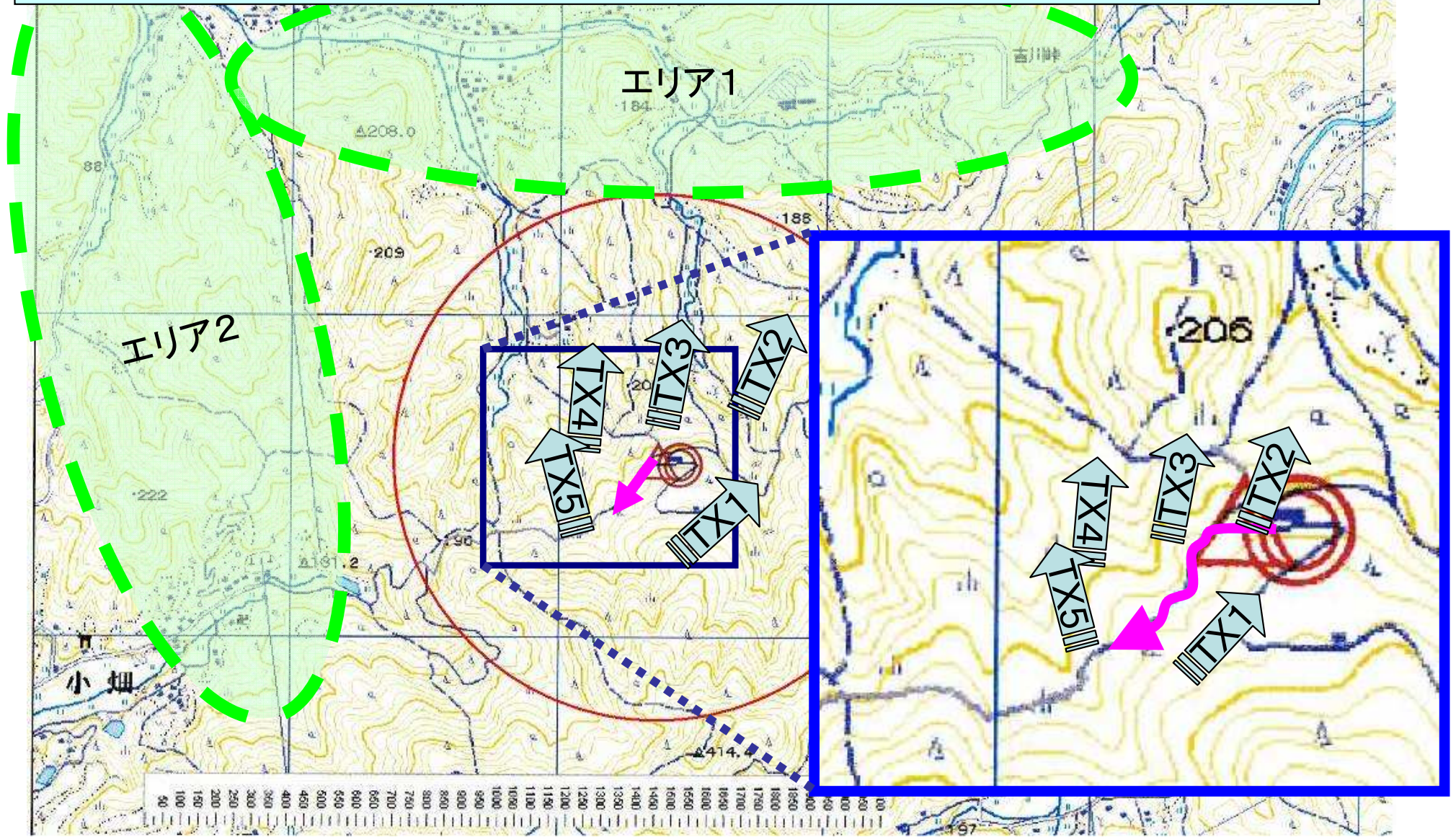
②「スタート地点にて地図読み2」

地図中央部のエリア1がメイントレイン。エリア3は行きにくい。できればあってほしくない。危険なエリア3に突入するかは最後の判断とし、右回り青矢印の順路を決める。



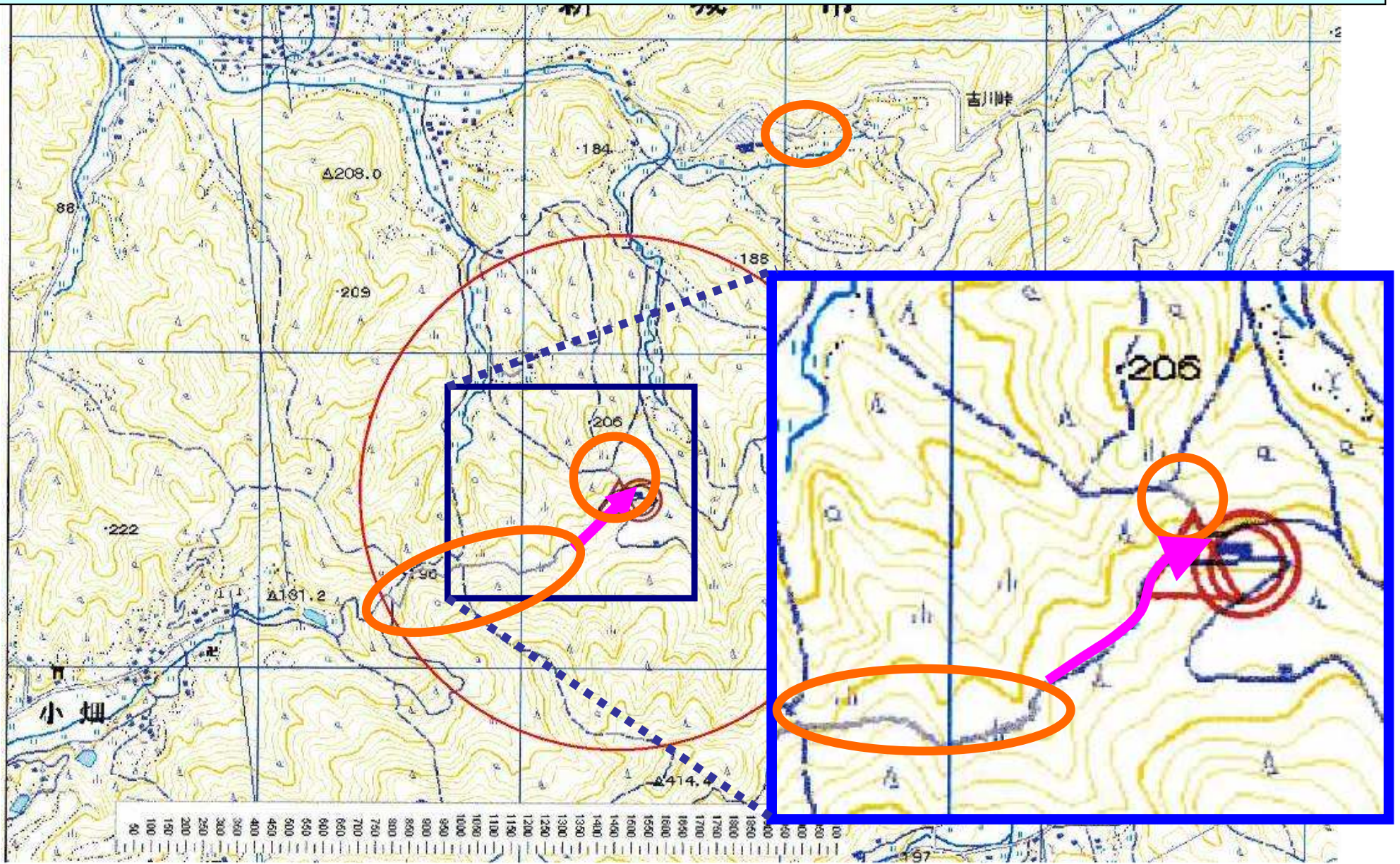
③「受信開始地点1」

受信開始地点が近かったので、TX5から測方。ほぼ北方向で結構強い。
順次、当初の予定通り、西方向へ進みながら測方。
TX1はほぼ東。「やばい。もしかしてエリア3?」。
TX2,3と順番に北方向。なんとTX4まで北。「やられた。西側のエリア2にはない」
そして、少なくとも3つはエリア1にある。戻ろう！



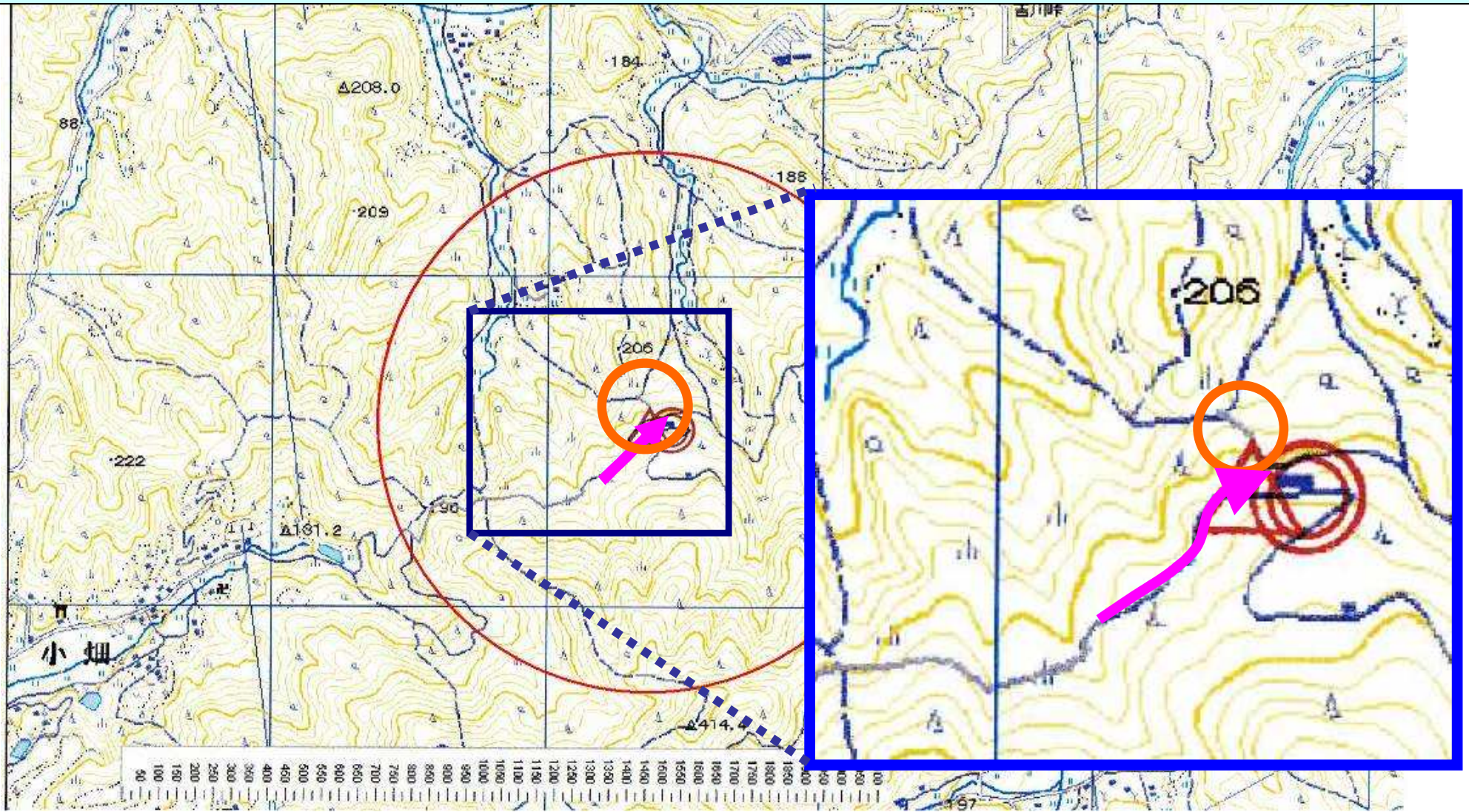
④「受信開始地点2」

今回の地図は国土地理院2.5万分の1の地図がベースにして、足りない道を主催者が苦労して書き足している。逆に言えば、それは競技上重要な道であるということである。一見してわかったのはオレンジの3箇所。スタートゴール付近は、文句なしに重要だが、離れている一箇所は???



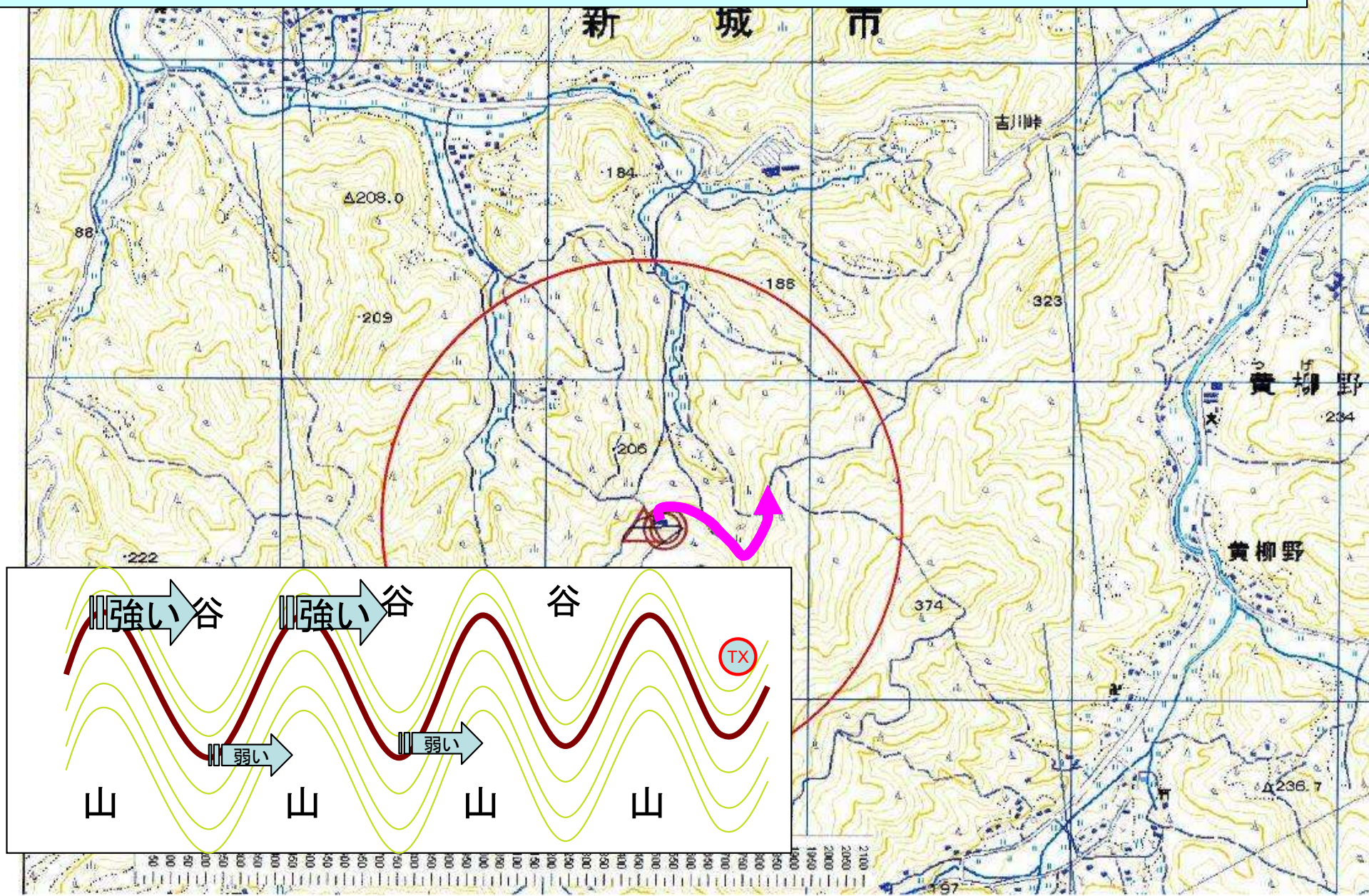
⑤「降り口」

今回の地図は国土地理院2.5万分の1の地図がベースにしており、道路形状が正確でない。道路形状で自分の位置を割り出すタイプ(例えば歩測ができない私)の人は、自位置を見失ったり、細い道への入り口を見逃したりする。
エリア1へ降りていく降り口(重要な道)を見つけてうれしくなり、10mほど下ってしまった。「いけない。安易に下りてはいけない。」
144MHzの鉄則を思い出し、戻ってメイン道路を東へと進む。



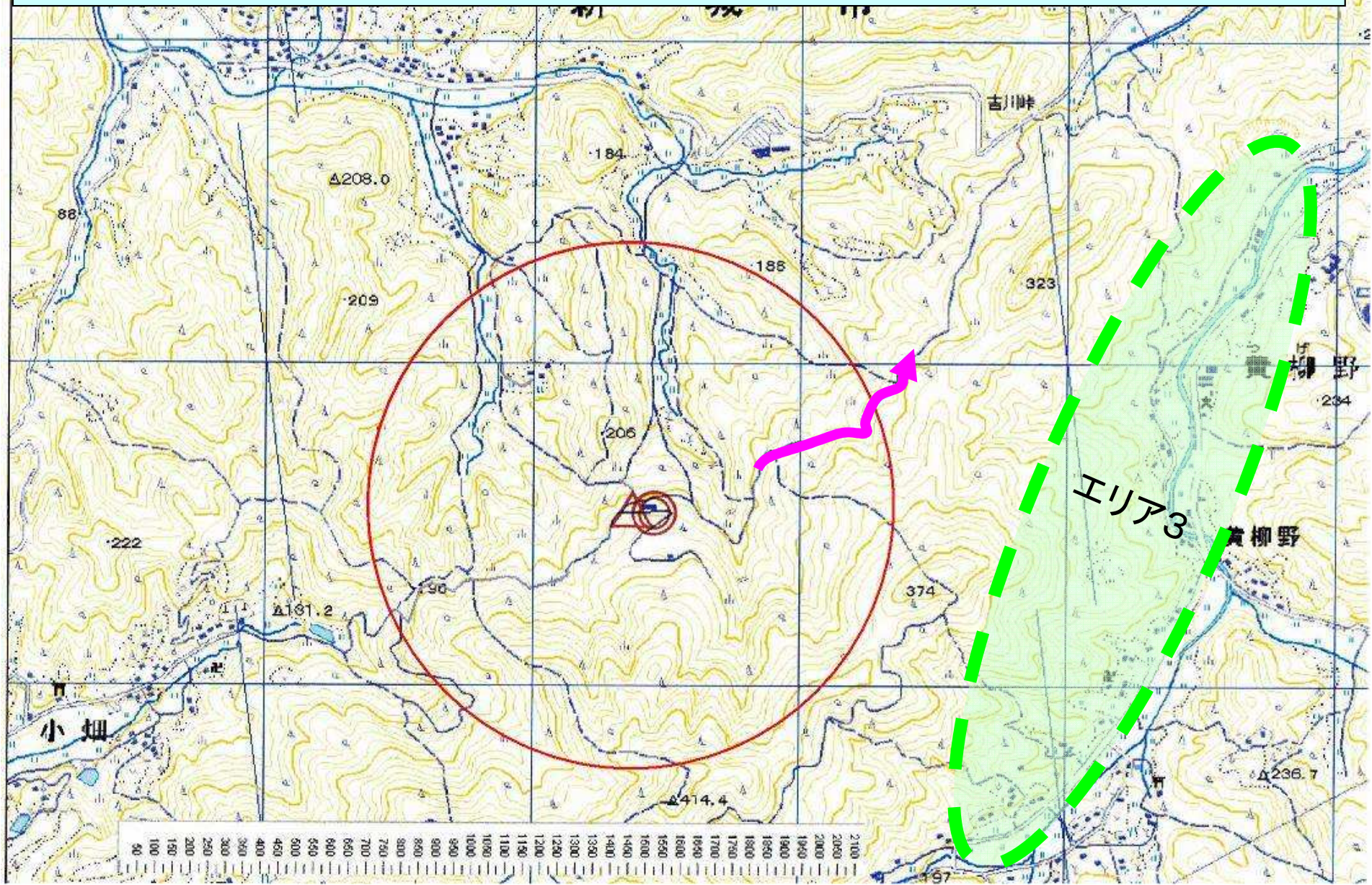
⑥「メイン道路1」

TXの方向はほぼ変わらない。TX5は弱くなってしまった。TX1、2は強弱が激しい。恐らく、道が等高線に沿って蛇行しているからであろう。



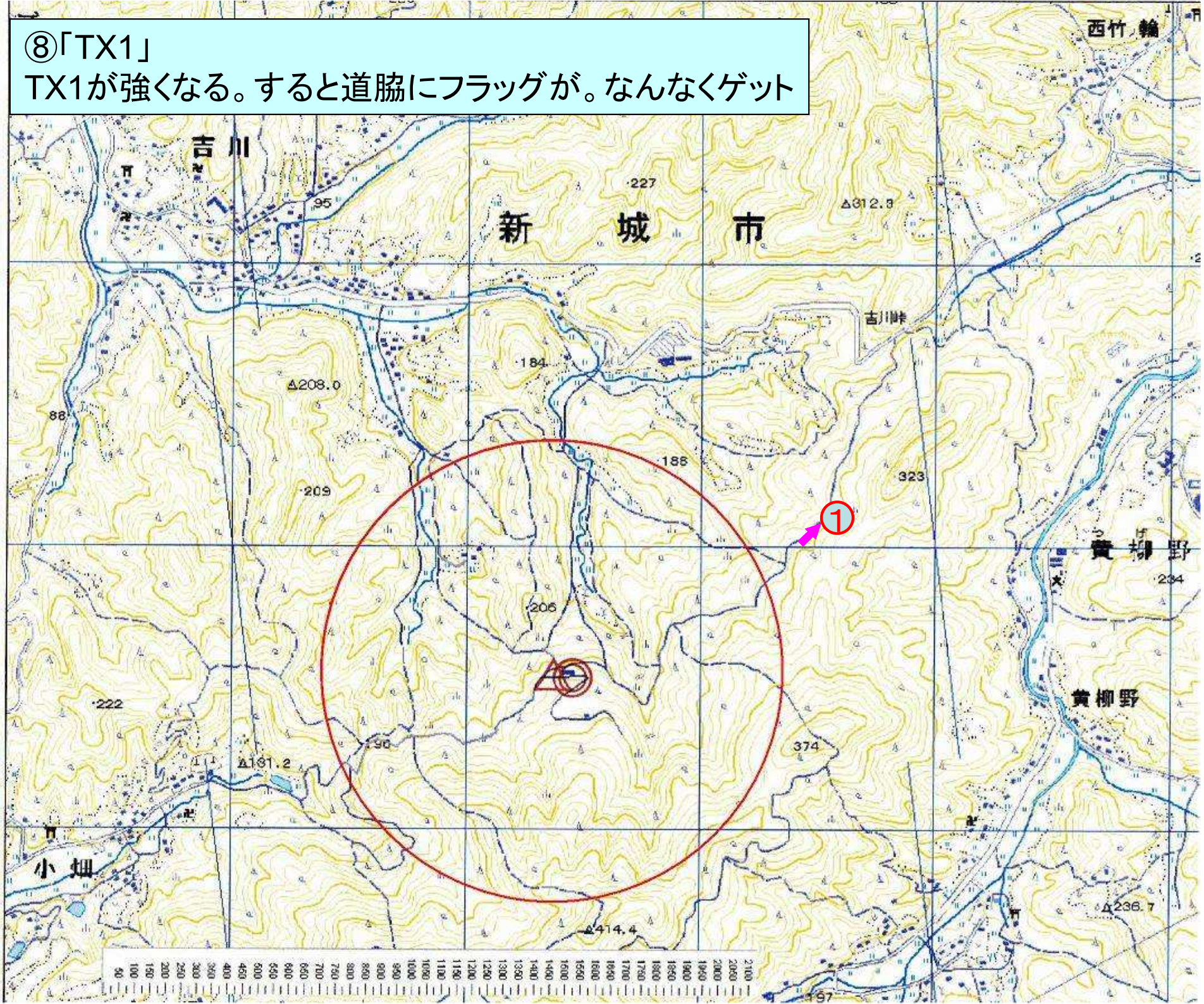
⑦「メイン道路2」

TX1,2の方向はあまり変わらない。しかし、エリア3にある可能性もある。常にエリア3の方向も見て、強くなることがないか確認しながら進んだ。エリア3にあった場合は、ちょっとした山の切れ目で直接波を受信できることがあるからだ。しかし、幸か不幸か、エリア3への道の入り口を通りすぎてしまった。

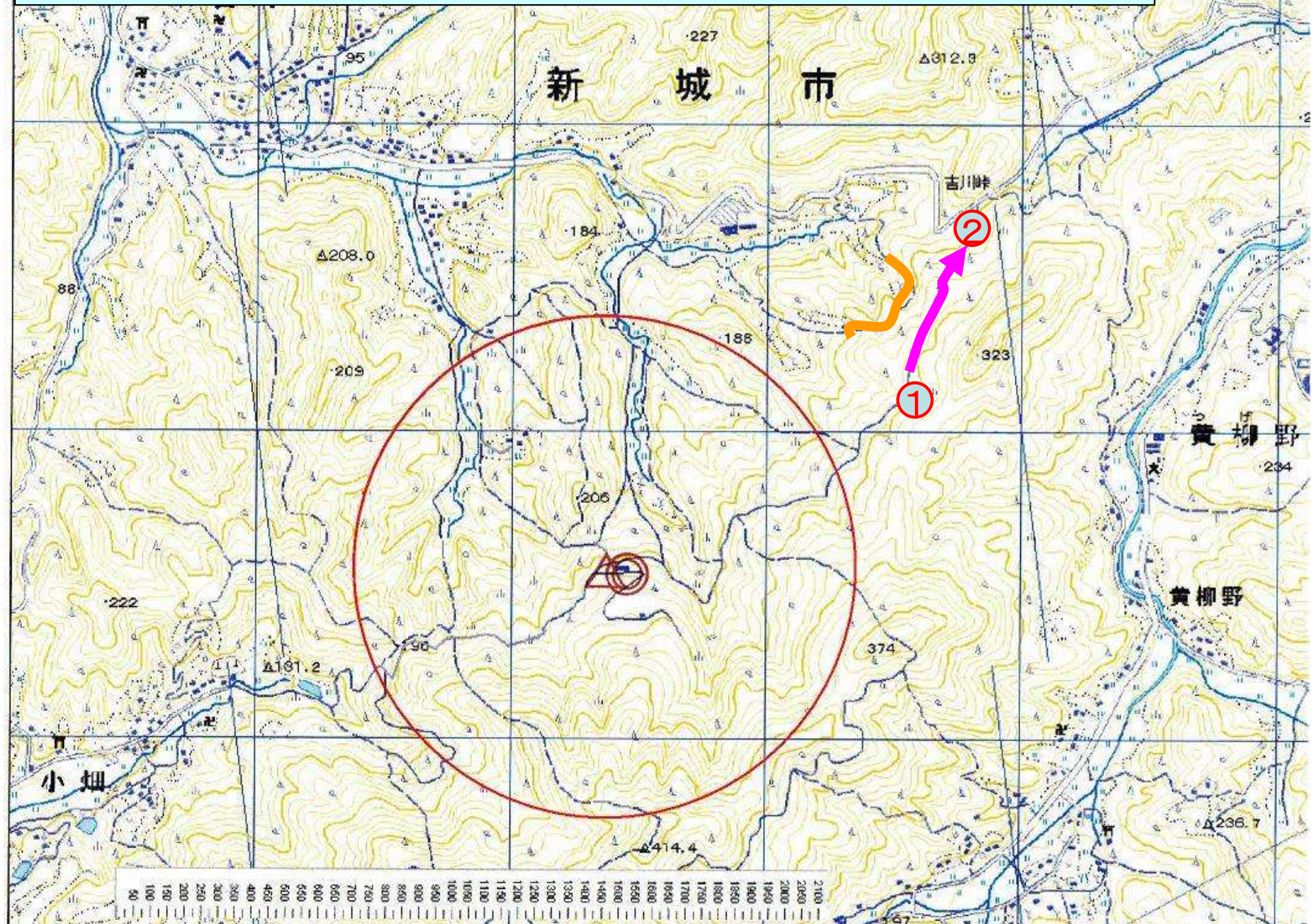


⑧「TX1」

TX1が強くなる。すると道脇にフラッグが。なんとなくゲット

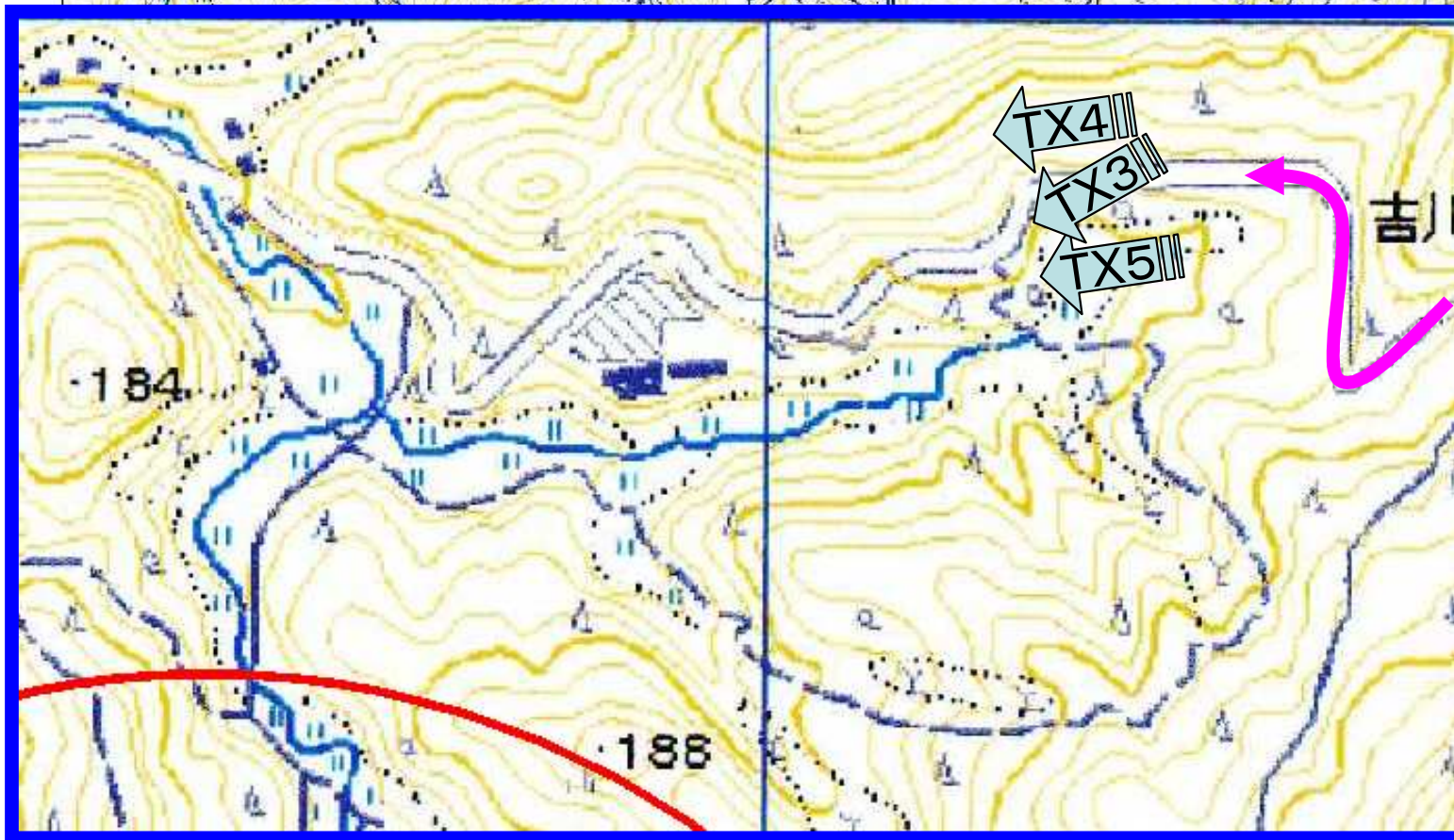


⑨「TX2」
オレンジの道へと行けないかと探りながら進んで行くが、行けそうにない。
突然TX2が前に現れる。ゲット



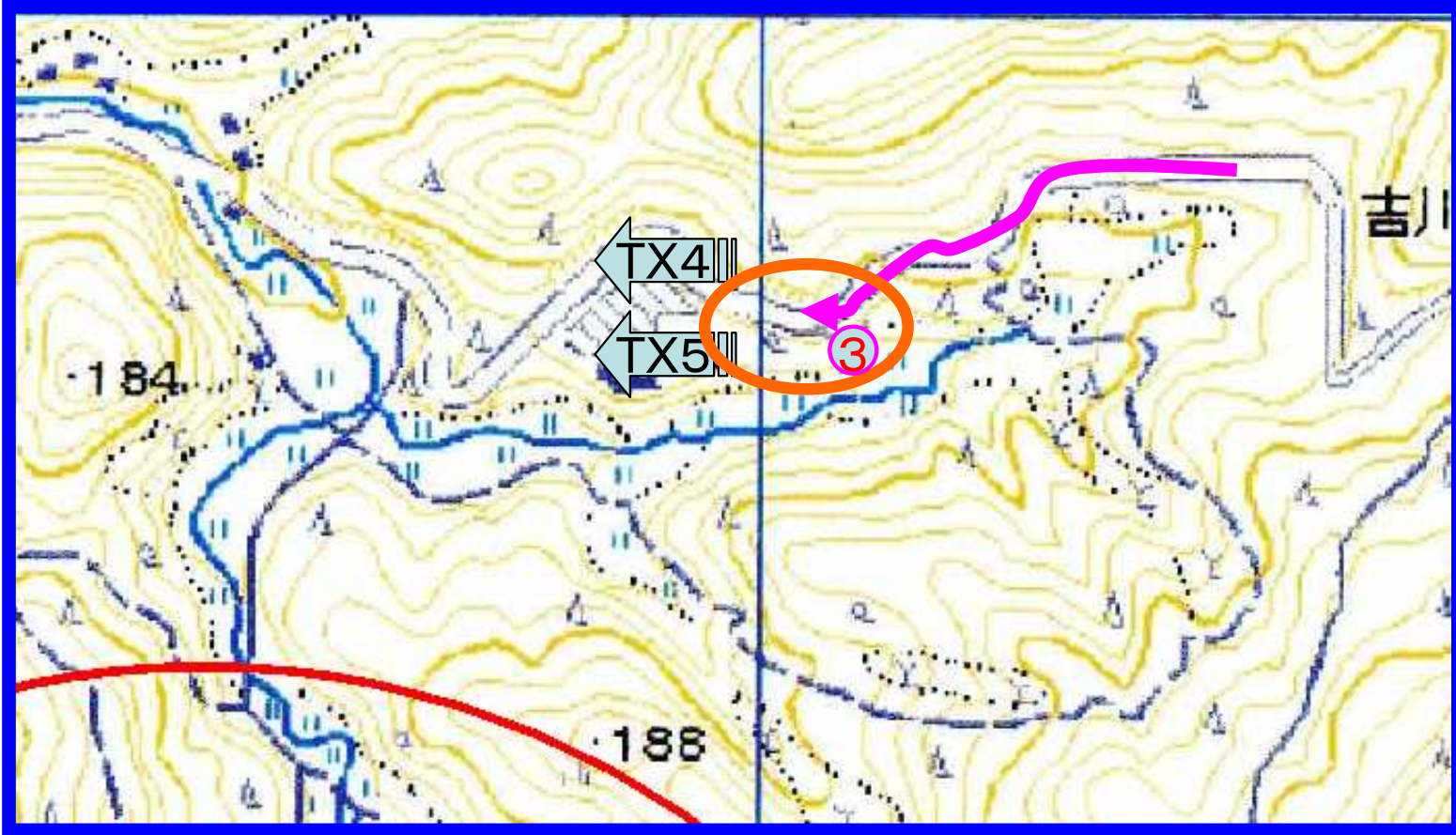
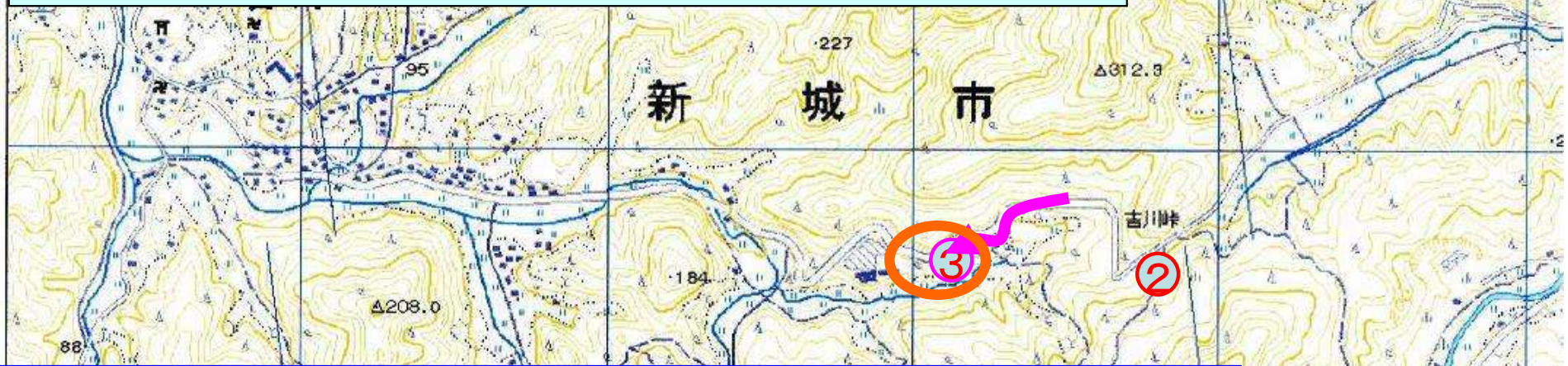
⑩「直線道路」

TX3,4,5はほぼ同じ方向。次のターゲットは強度から言ってTX3。慎重に測方して、道の左脇と推測。



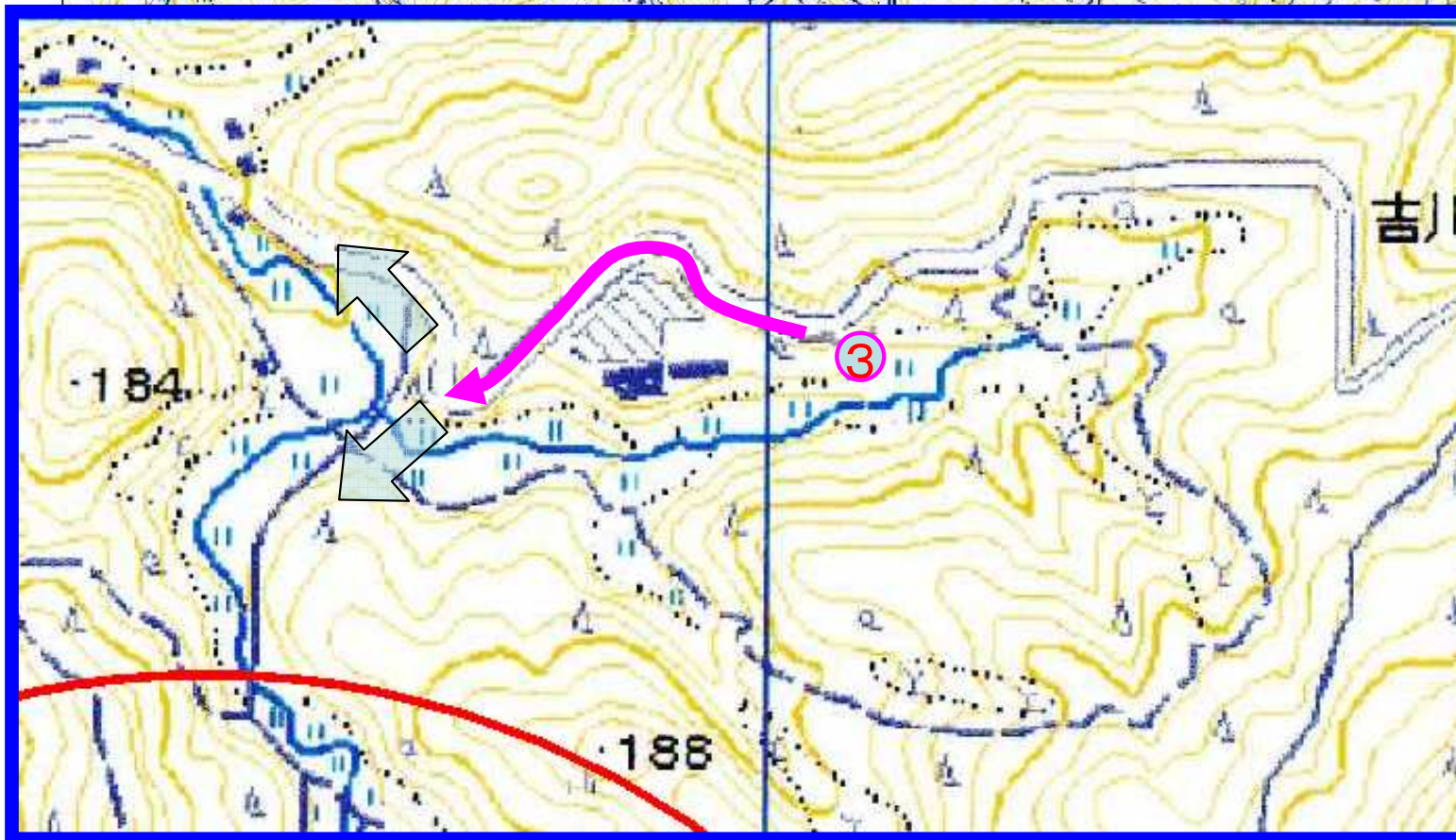
⑪「TX3」

お約束の追加道路のところでちょうどTX3が鳴く。やっぱり。
お約束道路を下ったところにTX3が見えた。次はTX4



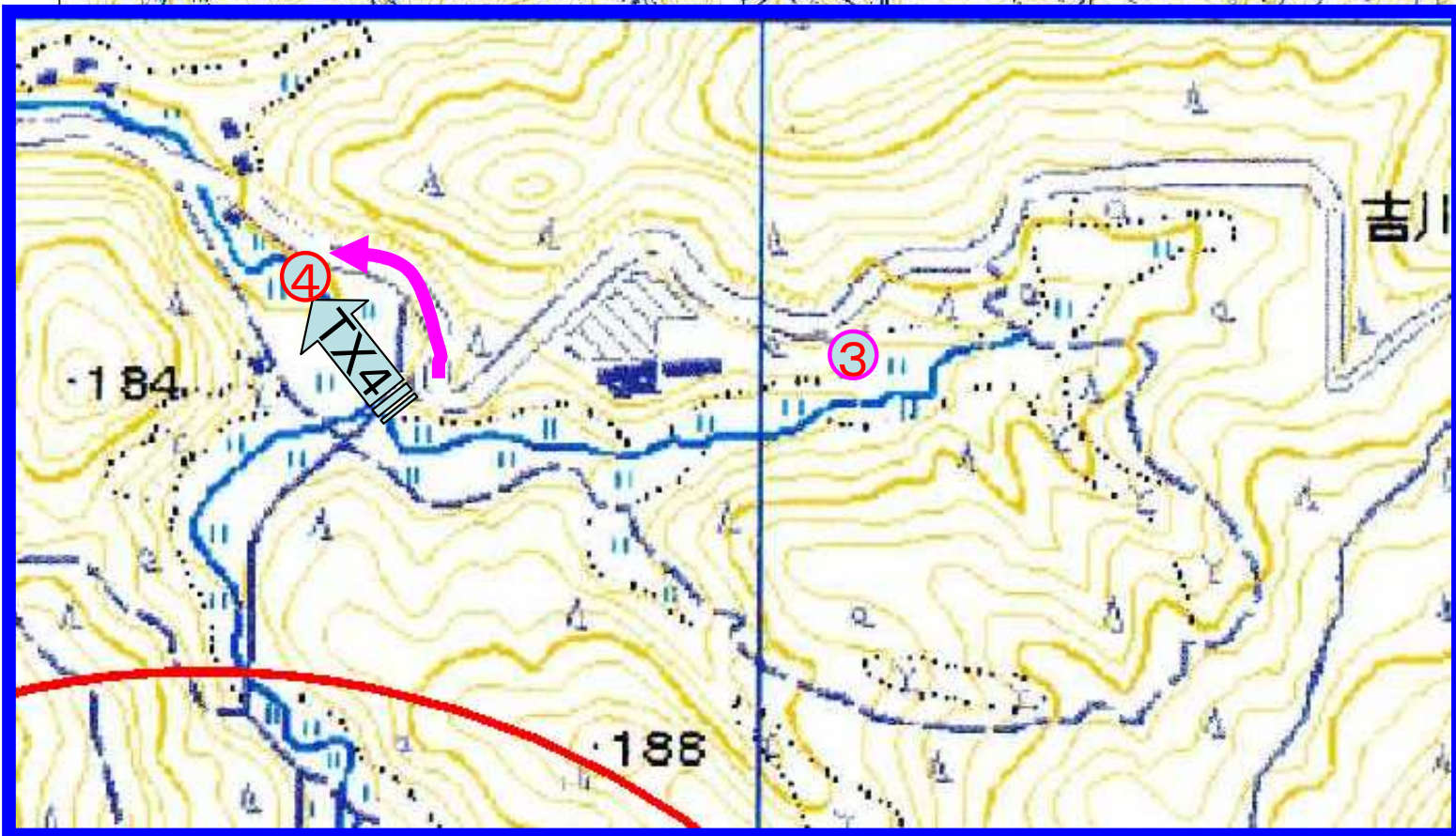
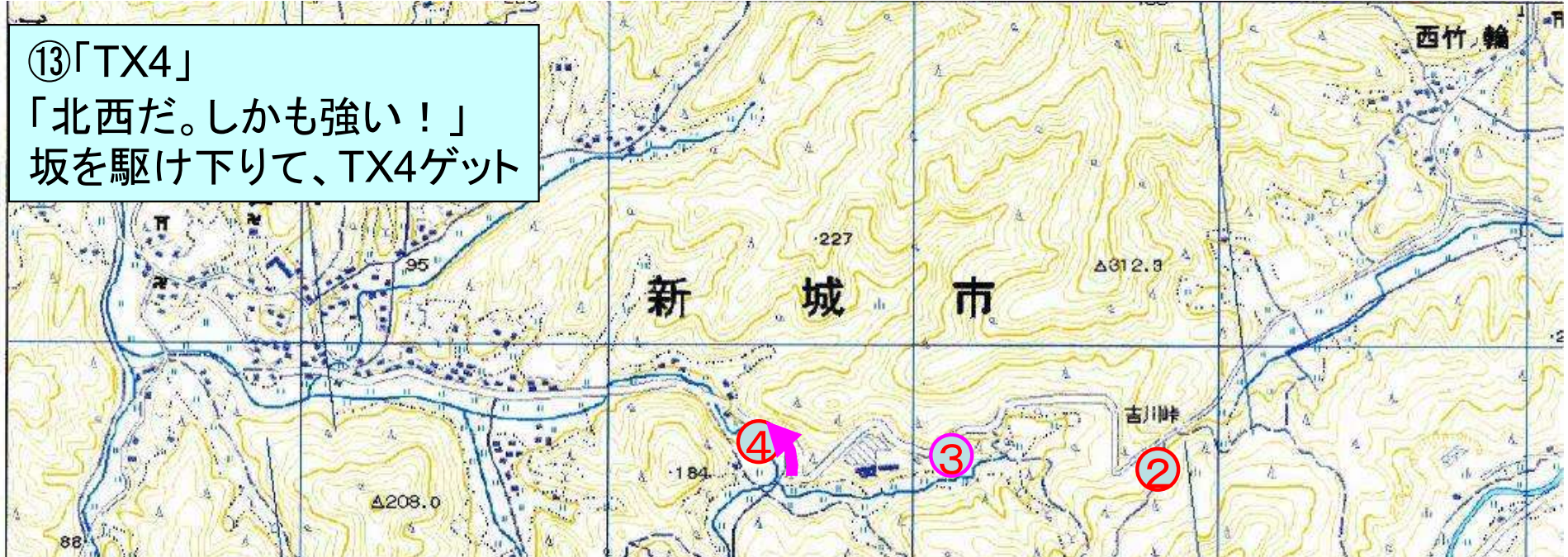
⑫「TX4が鳴くのを待つ」

TX4が北西方向か、南西方向かがわからない。この曲がり角が、両方向を見下ろせる場所。ここからはどちらも下りなので、落ち着いて地図を正置してTX4が鳴くのを待つ。



⑬「TX4」

「北西だ。しかも強い！」
坂を駆け下りて、TX4ゲット

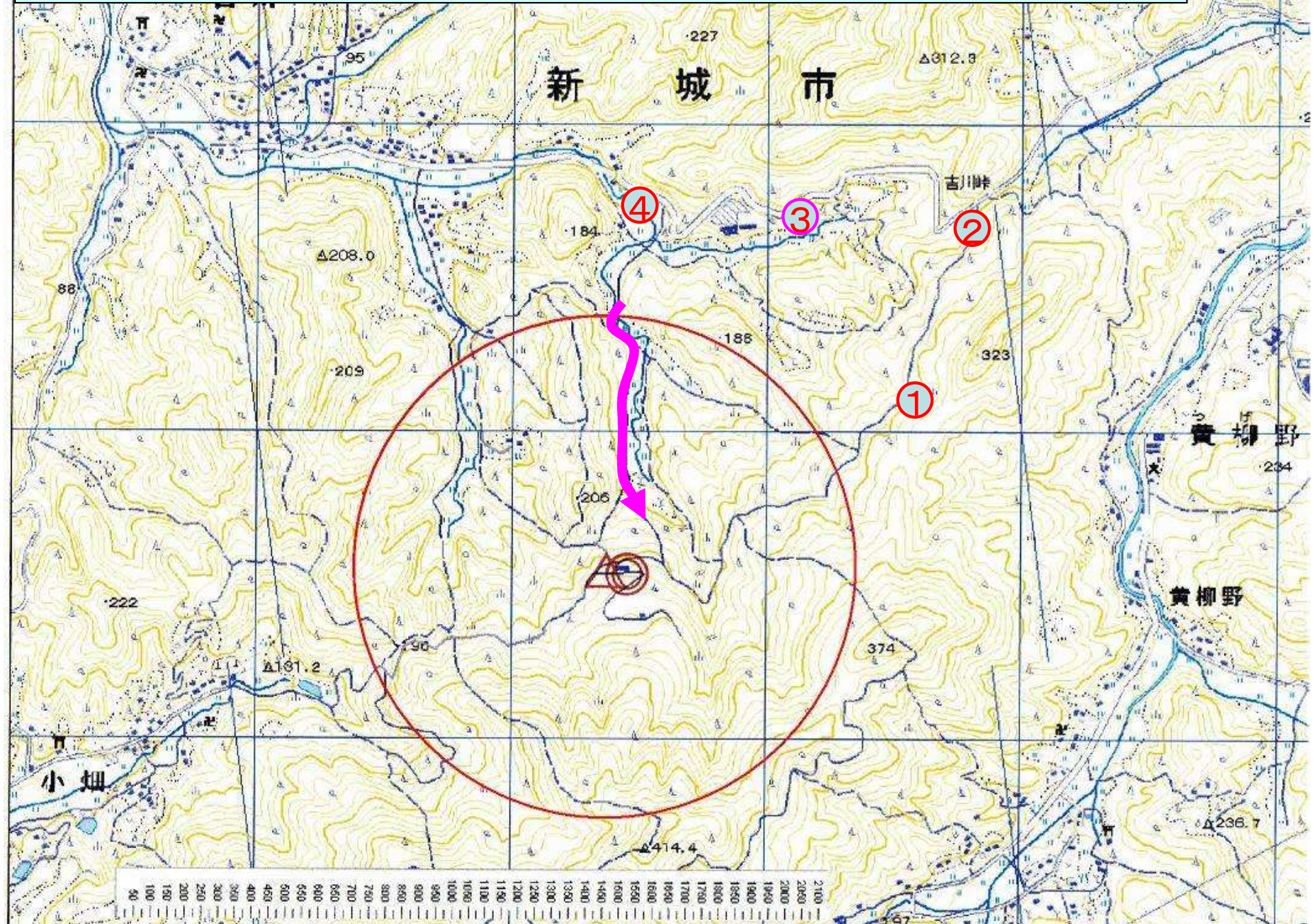


⑭「帰り道」

最近はパワー不足で、5つゲットを半ば諦めている自分が情けない。
時間的には余裕があったので正直迷ったが、逆に今帰れば初の一時間以内達成の可能性大なので、大事をとって帰ることに。

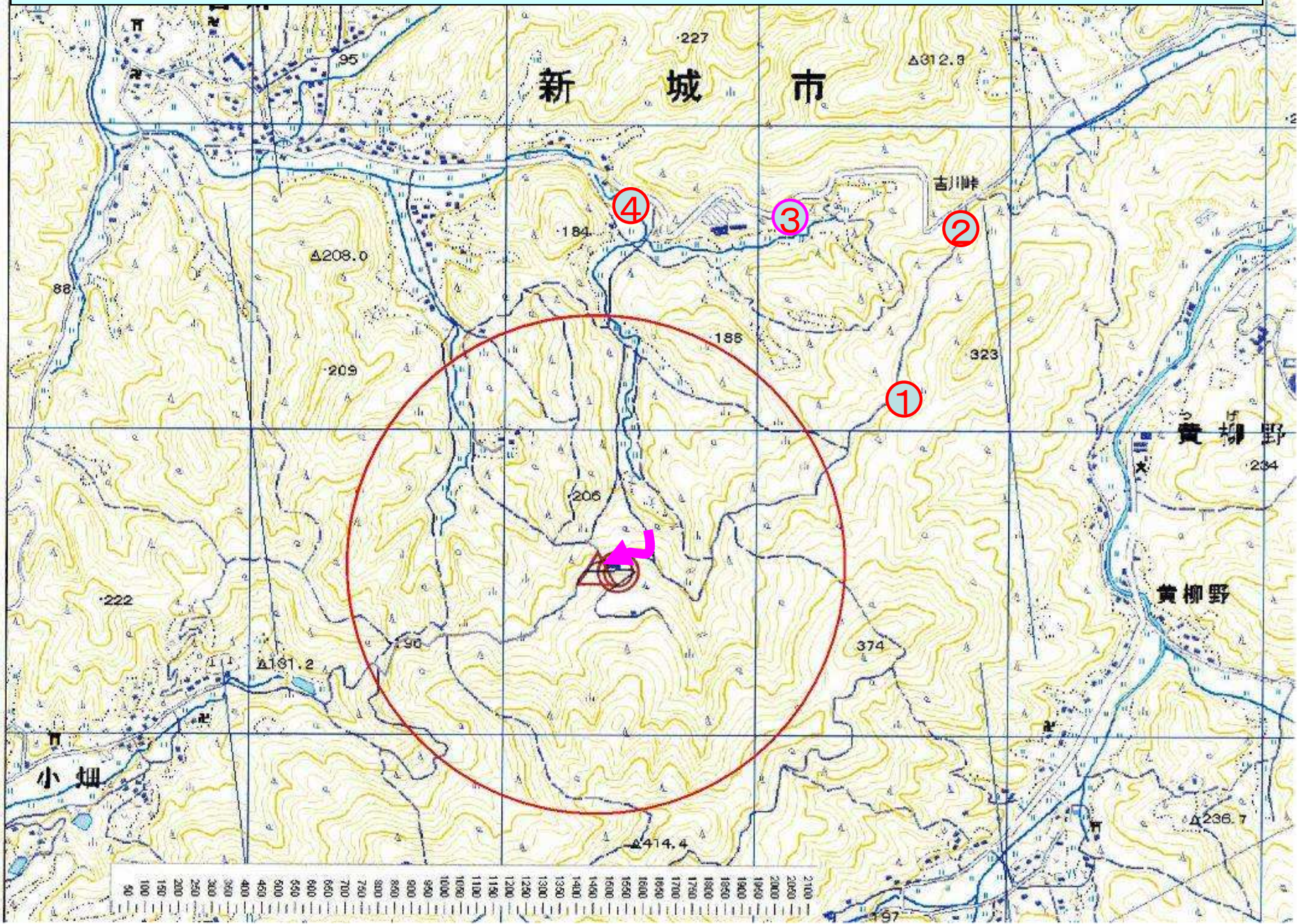


⑮「心臓破りの坂」
思いのほかきつい坂。TX5に行っていたら、+60分近かったかもしれない。
よかった。でも夢の1時間以内の可能性もほぼなくなってしまった。



⑩「ゴール」

ヘトヘトになってゴール。もし、ゴール誘導路の入り口が違っていたら、+5分以上かかっていたに違いない。(TT)



おわり

